

初弘法の話はこの前しましたね、今日は初天神の話です。

天神さんの縁日えんいちに行ったことがありますか？行ったことがなくても毎月二十五日に、北野天満宮きたのてんまんぐうの境内けいだいで屋台がたちならんでいるのを見たことがある人もいるのでは？

そもそも、天神さんにまつられているのは菅原道真すがわらのみちざねという平安時代じつさいに実際にいた人です。ではなぜ、人が神様としてまつられたのか、というあたりをおそれてです。

道真はともかしこい右大臣でしたが、その時の左大臣にねたまれて、九州の大宰府だざいふに流されます。でも、そのあと都はパニックになるのです。天皇の家に雷かみなりが落ちてやけたり、左大臣が原因不明で死んだりしたからです。

「うるさい」という言葉はもともと「うるさし」といったのですが、これはこの時のみやこの様子があまりにもうるさかったからできた言葉だという説があります。「うるさし」は漢字で書くと「右流左死うるさし」、すなわち、右大臣は流されて左大臣は死んだ、という意味になります。

縁日である二十五日は、道真の生まれた日（八四五年六月二十五日）も二十五日だし、なくなった日（九〇三年二月二十五日）の二十五日なので縁日になったのです。そして、特に年の初めの二十五日は「初」の天神さんの縁日ということで「初天神」と言っているわけです。

行ったら、見どころがいくつもあるので書いておきますね。南の狛犬こまいぬは竹内栖鳳せいほうと言う人のデザインで、府下最大のものの。影向ようしやうの松や国宝の本殿や豊臣秀吉の「北野大茶会」の碑ひ、絵馬殿の後ろにひっそり置かれた日露戦争にちろせんそうの時の砲ほう弾だんや、北門のめずらしくこう丸をもつ狛犬など……。

音読サイン↓

① 何の話でしょう？

② だれが天神さんとしてまつられているのですか？漢字で書きましょう。

③ なぜ実在の人が神様としてまつられたのですか？

④ 道真死後の大さわぎでできた言葉はなんですか？

⑤ 流されるとはどうされることですか？

⑥ 道真を大宰府に追いやった左大臣はその後どうなったのですか？

⑦ なぜ天神さんの縁日は二十五日なのですか？

⑧ 秀吉は北野で何の会をしたのですか？

（ ） お花（ ） お茶（ ） 競馬

⑨ あっているものに○をつけましょう。

（ ） 天神さんのたたりで天皇が死んだ。

（ ） 菅原道真は六十才以上長生きした。

（ ） 北門の狛犬はオスである。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できればは？

